

令和7年度

新潟県環境審議会水環境部会議事録

開催日時： 令和8年2月19日（木）
午後1時30分から午後3時30分まで

開催形式： WEB会議形式

出席者： 委員12名、特別委員4名

○委員

阿部 晴恵、五百川 裕、五十嵐 英人、伊藤 敦美、熊木 衛、佐藤根 妃奈、
菖蒲川 由郷、鈴木 毅厚、鳥居 憲親、幡本 将史、林 八寿子、松原 浩

○特別委員

前田 雅人（代理出席 中野 雅嘉）、板倉 博（代理出席 藤野 友里）
加藤 智博（代理出席 田邊 雄司）、奥西 武

議事録確認委員 林 八寿子

松原 浩

事項・発言者	発言内容
【開会】事務局	開会
【挨拶】 環境局 南副局長	省略
【出席状況報告、配布資料確認】 事務局	<p>委員 18 名中、出席委員は 15 名、途中参加委員は 1 名であり、新潟県環境審議会条例第 8 条第 7 項で準用する第 6 条第 2 項で規定する会議成立条件を満たしていることを報告</p> <p>配付資料を確認</p>
<議事 1 > 進行 事務局	<p>【議事 1 部会長・副部会長の選出について】</p> <p>部会長、副部会長の選任については、新潟県環境審議会条例第 8 条第 3 項の規定により、委員の互選により選任となっているため、推薦の有無を確認</p> <p>推薦がないため事務局から、部会長には五百川委員、副部会長には伊藤委員を提案</p>
意見 全委員	(異議なし)
進行 事務局	議事進行の受け渡し
【議事録確認委員指名】 五百川議長（部会長）	林委員及び松原委員を指名
説明 事務局	<p>議事 2 以降の事項について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>本日の議事の内容等について説明</p>
<議事 2 > 進行 五百川議長	【議事 2 令和 8 年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について】

<p>説明 事務局</p>	<p>議事2について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>(資料説明)</p>
<p>進行 五百川議長</p>	<p>ただいま事務局から説明のありました事項について御質問、御意見がありましたらお願いします。</p>
<p>質疑 佐藤根委員</p>	<p>PFOS 及び PFOA の地点選定の考え方について、他の測定項目を測定している地点の中から、考え方に該当する地点を選定するというのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>はい、河川の PFOS 及び PFOA 調査については、環境基準点を調査することを基本としていますが、水道取水点近傍の地点で補助点があれば、環境基準点ではない地点でも調査を行うこととしています。</p>
<p>質疑 佐藤根委員</p>	<p>その他に、空港周辺やフッ素樹脂製造工場が近いところは、PFOS 及び PFOA が排出される可能性の高い場所として考えられますが、そのような地域のモニタリングは、検討していますか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>排出源を基に測定地点を選定しないのかという質問かと思いますが、現時点で特定の排出源については不明であることから、まずは、河川の環境基準点や地下水の概況調査の調査地点で監視していくことを考えています。</p>
<p>質疑 佐藤根委員</p>	<p>汚染源についても、何かの形で把握できたほうがいいと思いますが、県ではそのような地域の調査は予定していないということでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>PRTR 法という事業者が自社で使用している化学物質について、排出量を届け出るという制度がある。PRTR 法の中で、県内の事業者で PFOS 及び PFOA の排出を届け出ている事業場が県内にはないことから、特定の発生源が把握できていないという状況があります。まずは広く環境基準点で調査することを考えています。</p>

<p>質疑 五百川議長</p>	<p>海域の COD について、環境基準を達成されていないのが 4 か所あって、その要因の解析を続けるということですが、要因については、現時点で何かわかっている、あるいは見当がついていることはあったのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>以前から原因究明の調査を行っているところで、内部生産による影響が示唆されていますが、根本的な原因は究明ができていない状況となっています。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>何でもわからないままだと、動かないような気がするがいかがでしょうか。令和 8 年度には、要因をある程度特定するようなことはできないのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>県としては、研究を今後どうしていくかということをお話し合っていたところですが、なかなか根本的な原因が究明できていないことから、今後どうしていくかは、検討が必要と考えています。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>解析をしている機関は、具体的にどこですか。業者委託で行っているのか、それとも県の研究所が行っているのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>県の保健環境科学研究所で研究を行っています。国と共同で行っている研究もありますが、長年行っているのは県独自の調査になっています。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>海域の COD がやや高いという事例は、新潟県だけではなく、他の地域でその原因等を考察している地域もあると思いますが、他の地域での同様な事例についての情報収集等はしているのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>個別の事例等は確認していませんが、海域での全国の調査結果を見ると、環境基準の非達成の状況は、全国と同じレベルで、海域は 80% 達成できているという状況。当県だけが特別高い状況や低い状況ではないですが、他県の状況も比較しながら、今後検討していきたいと考えています。</p>

<p>質疑 五百川議長</p>	<p>他県との割合ではなく、他県における要因について考察している情報を集めているかを聞きたいのですが、他県ではどのような要因で、CODの環境基準が達成できていないのかという点については、情報はないでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>委員御指摘のとおり海域で環境基準を達成していないという状況は本県だけではなく、全国的に見られている状況です。</p> <p>国から通知が出ており、環境基準を達成できていないところについては、有機物の流入があつて汚濁によって、上がっているわけではない状況があることから、利水の状況などを見たうえで、CODについては、環境基準の評価をしなくてもよいという通知も出ているので、先ほど内部生産という話も出ましたが、川、海の内部で生産されていくというような状況もあり、なかなか対策が取れるものがないという状況と考えています。</p> <p>今後の評価については、国の通知を受けて、評価を行わないことも可能性としてはあるので、今後検討していき、審議いただきたいと思っています。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>全国的にも要因が特定できていない、特定の発生源があるというわけではないと考えてよろしいですか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>特定の発生源があるというわけではないということです。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>これだけいろいろ環境の調査や研究者もいる中で、要因が特定できないものがあることが、非常に残念、少し心残りがあるが、原因が特定できないものだから、評価をやめるというのではなく、やはり要因がわからなくても、監視を続けるという姿勢の方が大事だと思います。</p> <p>評価をやめるかどうかというのは、今後の計画で議題に挙がると思います。昨年度の報告については、要因がわからないということで一応、承っておきたいと思いますが、ぜひ原因を究明する努力をしていただきたいと思います。</p>

<p>質疑 奥西委員</p>	<p>海域 COD について、内部生産があり、原因究明できていないという話ですが、原因究明するためにもその内部生産が重要なのかということを考える上では、栄養塩の状態や植物プランクトンの生産の状態のデータを取らないと原因究明にならないと思います。データ自体は取っているのか確認させてください。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>保健環境科学研究所で行っている研究では、新潟東港で、クロロフィル a という項目を測定していることは確認しております。</p>
<p>質疑 奥西委員</p>	<p>一部では植物プランクトンの現存量の調査、指標となるクロロフィル a というデータがあるということかと思えます。</p> <p>あと、できれば栄養塩がどれぐらい流入しているかといったデータを取りながら、内部生産が重要なのかということを検討していただきたいと思います。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>ご指摘のあったように少しでも要因の究明に関わるようなデータを取っていただきたいと思います。</p>
<p>質疑 鳥居委員</p>	<p>湖沼について、今、調査しているのは2地点だけで、間違いないでしょうか。</p> <p>県内でかなり広い面積があるわりに地点が少ないという印象を受けた。例えば、河川であれば74地点に対して、湖沼は2地点だけにしている理由は何かあるのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>調査しているのは、県内では2地点、鳥屋野潟と奥只見湖になります。湖沼については、水質汚濁が著しい又は著しくなる恐れのある水域を優先して、選定したところであり、この2地点になっています。</p>
<p>質疑 鳥居委員</p>	<p>その選定は過去に行ったものを慣習的に続けていることなのか、それとも定期的に県内の湖沼の中から、水質悪化が著しい可能性があるところを見直して選んでいるという形なのでしょうか。</p>

回答	事務局	<p>湖沼の地点については、環境基準の類型を当てはめている地点になります。長年、同じ地点で調査しているところです。</p> <p>また、県内の多くの湖沼は、人工・人造ダム湖であって、比較的上流域に存在するということから、生活・事業系排水が流入せず、水質の汚濁が見られないということが多いため、選定されていないと考えています。</p>
質疑	鳥居委員	<p>最後の説明のところの内容が主な理由で2地点だけに絞っているということですね。</p>
回答	事務局	<p>利水の状況を踏まえて、選定しているところになります。</p>
質疑	鳥居委員	<p>もし余力があれば、もう少し地点数を増やしてもいいのかなと感じました。</p>
進行	五百川議長	<p>他に御意見、御質問等、特にないようですので、先ほどの質問の中でも課題がありましたが、今回の測定計画につきましては、原案のとおり承認するということで、御異議はありませんか。</p>
意見	全委員	<p>(異議なし)</p>
集約	五百川議長	<p>それでは、御異議ないものと受け止めさせていただき、議事2「令和8年度公共用水域及び地下水の水質測定計画について」は、原案のとおり議決します。</p> <p>令和8年度公共用水域及び地下水の水質測定計画については、本日の当部会での決議を審議会の決議として、審議会長に報告することとします。その後、審議会長から知事に答申する形で手続きを進めさせていただきます。</p> <p>なお、文案について、私に一任させていただきたいと思いますが、よろしいですか。</p>
意見	全委員	<p>(異議なし)</p>
進行	五百川議長	<p>それでは、議事2はこれで終了とさせていただきます。</p>

<p><議事 3 > 進行 五百川議長</p>	<p>【議事 3 新潟県水環境保全基本方針の中間評価について】 引き続き、議事 3 に入らせていただきます。 議事 3 について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>説明 事務局</p>	<p>(資料説明)</p>
<p>進行 五百川議長</p>	<p>ただいま事務局から説明のありました事項について御質問、御意見がありましたらお願いします。</p>
<p>意見 松原委員</p>	<p>以前、本部会で名水一覧パンフレットの作成について、申し上げたところだが、今は紙媒体よりもホームページでPRするなり、あるいは SNS などで発信するので十分かと思います。</p> <p>先ほどの説明で、名水の数が 68 あったのが 67 になったということで、これから名水の数を維持するという目標にすることは、仕方がないことだと思います。AI を使って、他県の名水の状況を調べたところ、まず統一基準があるわけではないので、全国ランキングは意味をなさないわけですが、熊本県は 100 か所、島根県も 100 か所程度あり、山形県が 82 か所指定している。新潟県が 68 となってその次に来る。先ほど申したように、統一基準ではないが、47 都道府県のうち、上位四番目になっている。本県は豪雪地であり、面積も比較的広いが、非常に恵まれた名水環境にあると思います。</p> <p>予算や人的資源も非常に限りある中ではあるものの、できるだけ名水が素晴らしい自然環境を育てていることを県民にPR していくことはとてもいいことではないかと思いました。</p> <p>それから、河川環境のアンケートについて、「水量の多さ」は多いほうがいいと思って答えている人と、それから洪水のときに困る、あるいは農繁期には用水路の流量がものすごく増えて怖いと思うような状況を見て、水量が多すぎると答えている人もいるのかどうか、アンケートを聞くときにはっきりしているのかがわからなかったのも、そもそも水量の多さという聞き方がいいのか、水量が適切かという聞き方がいいのか、そのあ</p>

	<p>たりも含めて、どうなのかなと思いました。</p> <p>例えば、信濃川で水量が少ないのは、長野県栄村の西大滝あたりに取水口があって、そこで取水されることによるものもあり、様々な要因によって決まっていることもあるので、多ければいいとは単純にはできないことがあるが、アンケートがどういうことなのかをお聞きしたい。</p> <p>いずれにしろ、本県は雪害ですごく大変だが、地の利である雪は、少しずつ溶けて地下に染み込んで、それが間接的には67ある新潟県の名水を育てていることは、大きな財産であるから、県民に知ってもらい、恵まれたところに住んでいるということを感じてもらうことも大事ではないかと思います。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>県民アンケートでは、「あなたは身近な河川についてどう感じていますか。次の項目について当てはまるものを1つだけ選択してください」と聞いており、その聞き方も、水量の多さや水の綺麗さというように、水量が多いのか少ないのか、どちらで捉えられているのかということは、このアンケートからは判断できない状況になっています。</p> <p>委員御指摘のとおり、どちらで回答しているかわからない設問になっているので、検討が必要と感じています。</p>
<p>進行 五百川議長</p>	<p>確かにこの項目の聞き方は、水量の多さと聞くのは少し偏っているので、水量だけでもいいかもしれない。水量が少なくてもいいと思う方もいるだろうし、多くていいと思う方もいるだろうから、満足感を聞くのであれば、水量の多さを聞くよりも、水量について満足しているかどうかという聞き方でも、次回以降いいのではないかと思います。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>非常に水環境にも恵まれている県だということは私も承知しており、その魅力をいかにして県内外に発信していくのが課題であると考えています。</p> <p>委員御指摘のとおり予算の関係などもあり、大きな事業はできませんが、自前でできるようなことを考えていき、今後はSNSなども活用して、発信をしていきたいと考</p>

<p>松原委員</p>	<p>えています。</p> <p>自然水だからといって、飲めるかどうかは自己判断という面があるので、なかなか難しい面もあるかと思いますが、可能な範囲で進めていただければ一県民としてもすごく嬉しく思います。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>目標3の県民の取り組みについて、アンケート結果等を受けて、施策の方向として、環境教育・環境学習のプログラムづくりの支援、あるいは人材の育成を重点化、強化していくという説明があったが、具体的にはプログラムづくりの支援や人材育成は、何かを新しく始めるもしくは今実施していることをさらに回数を増やすことや広報等を強化するなど、具体的なものがあつたらご説明いただきたい。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>環境学習を支える人材の育成や確保することに対して、具体的なことをお聞きになっているかと思うが、こちらで確認していないので、確認させていただく。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>それではプログラムづくりの支援というのは、何か実施していることがすでにあるのか、あるいは新しく実施しようと思っているのでしょうか。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>具体的に何か支援を新しく始めたいと考えているものは、特に現時点ではありませんが、計画の後半期間で取り組んでいきたいと考えています。</p>
<p>質疑 五百川議長</p>	<p>県でもやっているように環境リーダー育成協議会があります。環境教育ということであれば、学校関係・教育庁関係も考えられます。SNSを使うというような話もあつたので、事業を考えるときには、SNSを発信する中で、相談の窓口を明記する等、いくつか具体的な動きを考えられると思うので、方向だけではなくて、ぜひ具体的に考えるようにしていただけたらいいと思います。</p>
<p>集約 五百川議長</p>	<p>それでは、委員から御意見等がありましたので、意見等</p>

<p>進行 五百川議長</p>	<p>を参考にさせていただいて、今回中間評価でしたが、本方針の後半部分について、取り組みをさらに進めていただければと思います。</p> <p>以上で本日用意した議事については終了となりますが、全体を通して御意見、御質問、情報交換等がありましたらお願いします。</p> <p>他に御意見等、特にないようですので、議事の進行を閉じさせていただき、事務局から連絡事項があればお願いします。</p>
<p>回答 事務局</p>	<p>(連絡なし)</p>
<p>進行 五百川議長</p>	<p>それでは、事務局に進行を戻します。</p>
<p>【閉会】事務局</p>	<p>閉会</p>